

広 報

# とままえ

発行／北海道苫前町  
編集／企画振興課広報広聴係



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち

No.521  
2005

1



# 迎春

## まちの人口

人口／4,234人  
男／2,019人  
女／2,215人  
世帯数／1,770世帯  
(11月30日現在)

苫前保育園では、毎年おとうさん、おかあさんといっしょにおもちつきかいが行われている  
家庭では、キネとウスでお餅をつく光景も見られなくなってしまいましたが、園児たちは元気よく「ヨイショ！ヨイショ！」の掛け声に合わせてキネを振り上げ、ペタンペタンと軽快に心地よい音を響かせていた  
(12月11日、苫前保育園にて)



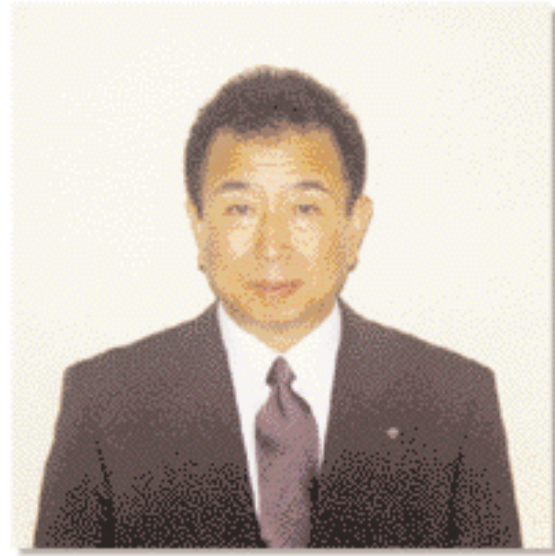
標語 気をつけて 心の油断が 事故のもと

古丹別中学校 2年 大川史奈さん



# 人が輝き躍動するまち苫前町

## 「新しい自治のかたち」の 確立をめざして



苫前町長 森 利 男

が、地方に税源を移されても課税対象が少ないことから、国からの地方交付税の財政調整や財源保障機能をしつかり確保していただくことが必要です。

地方交付税は、国からのいたたきものではなく地方固有の財源でありませんが、これを減額し国の財政再建だけを達成しようとしている方策と見る向きもあります。

また、市町村合併では、危機的な財政状況を背景に国の都合で進めているもので、留萌中部三町村の合併協議会は、羽幌町の離脱により解散となり継続協議ができなくなりしましたが、今年の四月からは、合併新法における五か年間の時限立法での議論をしていくこととなります。

この合併議論は、本町の課題や自己検証の最大のチャンスとして生かし、同時に他町村との比較を通じ効果的な検証が可能であり、今までは違った厳しい内容になるのではないかと思われまます。踏まえて市町村も厳しい試験を克服しなければならぬ時代を迎えております。

大切なのは合併するにしても、しないにしても「まち」が力をつけることであると思っています。

本町は一次産業中心のまちでありますが農業・漁業の安定なくしては、町の発展は難しいと思っております。同時に運動して商工業等の振興も進めていかなければなりません。

せん。

苫前町は、現在約五万三千<sup>キロワット</sup>の発電出力を誇る国内最大級の「風力発電のまち」ですが、今年度から五か年事業で国の財政支援のもと、電源開発(株)が全国で初めて風力発電における電力安定供給を可能とする大型蓄電システムの実用化試験が実施されることや、国の直轄事業での第三種苫前漁港の整備を北海道マリニビジョン21構想の拠点漁港としての整備、苫前地区の下水道整備、町民によりよい水を供給するための水道取水場の移設、古丹別川・三毛別川の改修、道道力昼九重線のトンネル工事着手、苫前中学校の改築や地域通貨の定着活用等々、苫前町のまちづくりも着々と進められております。

町民の憩いの場である「とままえ温泉ふわた」とや苫前厚生病院についても、今年には更に内容の検討を深め、将来のまちづくりにできるだけ負担のかからないような研究を進めております。

これからのまちづくりは、国に判断を仰ぐ時代から自ら基準を持つ時代であると思われまます。今後は、自らの自治体を健全に運営する理念を盛り込んだ制度を確立し、厳しい時代を乗り越えるべく「苫前町まちづくり条例(仮称)」の検討を進めているところであります。

これからの時代はできるだけ町民の方々と情報を共有し、町民と

議会と行政が一体となって進めることが基本であります。

昨年十一月には、大変ご苦労されて苫前町自立検証委員会より、町に対し町政全般にわたり具申をいただいたところでもあります。自立は当然のごとく困難を極め、簡単にできないと思いますが、粘り強く段階を踏んで進めていくことが大切であると思っております。これまで成長を支えてきた横並びでの安心感や、個人並びに地域の画一的な考え方から脱却する「自主自律」を基本とし、個性のある「苫前町らしさ」を推し進めることが大切であると思っております。

これからは、苫前町の将来にとって極めて大切な時期であり、将来の苫前町をしつかり見据え、悔いの残らないように町民の皆様が納得できるしつかりとしたまちづくりを進めていく所存でありますので、皆様の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

いつまでも町民の皆様がお元気で住みやすく活気にあふれたまちづくりを進めていきたいと思っております。

日本初の大規模風力発電施設は、世界初の大規模蓄電研究施設を備え、今日もしつかりと風を受け、回っております。

本年が皆様にとって最良の年でありまますよつお祈り申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

皆様、明けましておめでとうございます。

おすこやかに佳き新春を皆様と共に迎えることを心からお慶び申し上げます。

今わが国は、激動の世紀と言われ、景気動向とともに深刻な経済的、政治的、社会的諸問題に直面しており、少子高齢化や地球規模での環境問題、更には国際化等から転換期を迎えており、抜本的な改革が求められています。

特に、これからの地方分権は、市町村が基礎的自治体として重要な役割と責務を担う時代と認識し

ています。

しかしながら、現在、本町の歳入のおおよそ六〇割を占める国からの地方交付税は、市町村のほとんどが依存しており、国は、なお一層の減額に拍車をかける姿勢を示し、極めて厳しい財政運営を余儀なくされております。

現在国は、国と地方のあり方を見直す地方分権と称して「三位一体改革」という名のもとに、補助金削減、税源移譲、地方交付税の見直し(減額)を同時に行うことで進めております。これは、地域の自治を守るためにも重要で

三重県長島町  
町制施行五十周年とともに閉町式



十一月十三日友好町である三重県長島町は長島温泉「花水木」コンベンションホールにおいて、町制施行五十周年の節目とともに、十二月六日の桑名市及び多度町との合併に伴う閉町式典が執り行われ、これまでの町制を偲び、新「桑名市」誕生に向けて、新たな決意を確かめ合った。式典は、平野克久町長から「伊勢湾台風では、堤防の決壊により多くの尊い人命と家財が失われたが、不屈の精神で復興を成し遂げ、農業と観光の町として発展。先人のご労苦に敬意を表し、町民の皆様へ感謝申し

上げます」と新市「桑名市」としての新たな門出にあたり、万感な思いを込め式辞で述べたあと、自治功労などの六十七名及び五団体に表彰状が贈られた。また、来賓として出席した森町長は、町民各位から台風十八号被害義援金を受けたことに対し、お礼を述べるとともに「長島町の今日の輝かしい発展は、強大な大自然の壁に挑み、安住の地を築き上げた偉大な業績であります。合併後も真に住民の幸せのため生き生きとした心豊かな町づくりに向かって、共に前進することを願います」と祝辞を述べた。式典はこの後、町旗降納を行い、小学生児童による合唱及び作文が発表され、長島町の最後を偲び閉式した。

苦前町有形文化財第1号指定

鯨建網船用材運搬用具『修羅』

11月30日町教育委員会では、苦前町文化財保護条例に基づき、道内では極めて珍しい「雪国第一の用具」といわれる「修羅」を学術的価値が高い重要な民具として、有形文化財第1号に指定した。



「修羅」は鯨建網船用の材を山から切り出す際の運搬に使われ、鯨漁で急速

に発展した幕末から昭和初期にかけて活用されていた。

本州での博物館では保存されているところもあるが、道内では本町以外に確認されておらず、先人の生活様式を示す民俗資料として極めて重要なものである。

今回鑑定を行った道内そり研究の第一人者である関秀志氏（日本民具学会評議員＝苦前町出身）は、「力屋での鯨建網漁場で船材の運搬に使用されていた『修羅』は、台木345cm、同幅30cmで、本州の一般的修羅とほぼ同じで、保存状態も良好。全道的に見ても極めて珍しい冬期の雪上運搬用具であり、苦前町指定の文化財に値する重要な民具（民俗資料）と言える」と評価。

今後、この「修羅」は2月頃に公民館及びとままえ温泉ふわっとで一般公開される予定。

「文芸」 苦前町文芸と語る会

(短歌)

放浪の旅かと思ふ過去もあり今安住の里の初春  
古丹別 木幡とく子

雪鎧ふ不動の山を背景に鉢の紅梅ふくらみし旦  
古丹別 住吉 美恵

良き年の予感の和み初春のワイングラスの硬質の音  
古丹別 大矢根亮子

わが母の祥月命日降る雪の寂しく白き睦月短日  
栄 浜 横内 弘子

波高くオロロン街道苦前の漁船の惨事あまりに酷し  
長 島 水谷 露子

(俳句)

実はまなす 砂丘も海も ひせぶごと  
古丹別 桑 風

焼芋の 呼笛ひようひよう 街の角  
古丹別 林 千代美

川柳

(文責・大矢根)

台風で 狂い咲きする 姫りんご  
古丹別 運上 吉雄

今日の酒 ストレスすべて 打ら砕き  
苦前 宮本 貞博

一言の 労わり妻に 言える歳  
苦前 斎数 範章

ゆかしさが 漂う床の間 松の枝  
苦前 関 武

流派など ないが床の間 花が映え  
苦前 鎌田 信夫

(文責・鎌田)

お詫び

十二月号短歌「つつましく鬼灯の殻透き通り灯がとるかに赤き実熟れる」の作者大矢根亮子さんのお名前を間違えて掲載しておりました。心より深くお詫び申し上げます。



# ふるさとづくり賞「振興奨励賞」受賞



9月11日に三毛別麗事件90回忌追悼法要で奉納された少年団のくま獅子舞

個性豊かで活力あるふるさとづくりに取り組んでいる団体などを表彰する「ふるさとづくり賞」において、苦前町くま獅子保存会が「振興奨励賞」を受賞。十一月二十二日役場町長室において、森町長から表彰状の伝達が行われた。



表彰状の伝達を受ける中野会長

このふるさとづくり賞は財団法人あしたの日本を創る協会（東京）などが主催するもの。同保存会は史実保存会を結成した後も、少年団活動による後継者育成への努力が認められたもの。同保存会は三毛別ヒグマ事件を基に、地域の有志が中心となり昭和四十八年に結成。昭和五十七年には苦前町無形文化財第一号に指定され、これまで数多くの公演やテレビ出演を行い、苦前町の知名度向上に貢献している。

に基づいて創作された郷土芸能で、北海道特有の開拓悲話を後世に伝えるため、くま獅子

表彰状を受けた中野吉晴会長（字古丹別）は「地域の文化を何か残したい。この思いから、手づくりで音楽や振り付けを創作した。これからは、少年団の子供たちの郷土愛を高めるためにも、休止状態となつてい

## 苦前町自立のまちづくり構想

### 自立運営検討会議が町長へ具申

各民間団体等二十五名で構成する苦前町自立運営検討会議（委員長岡田裕幹）は、七月から十九回に及ぶ会議を重ね、自立運営検討プラン（自立のまちづくり構想）を取りまとめ、十一月二十六日森町長へ具申した。この検討プランは、共感・協働・共創」を基本理念に、自助・互助・公助の精神で町振興計画を継承・発展するもので、子供は地域の宝物として施策への配慮を図り、応分の受益者負担、



医療と教育の現行維持に配慮しながら、事務事業全般を洗い直した。内容は、今後十年間の財政の見直しにおいて、職員数の退職者不補

## カラオケ&豪華抽選会の夕べ 冬ソナ・ヨン様そっくりさん登場



ヨン様になりきる栗林さん

十一月二十六日とままえ温泉ふわつとにおいて恒例の「カラオケ&豪華抽選会の夕べ」が開催され、町内から百七十名が参加する中、嗜好を凝らしたカラ

オケや和太鼓演奏が披露され、豪華景品に一喜一憂しながら楽しんだ。カラオケは、佐々木民雄さんの「宗右衛門町ブルース」で始まり、町内のご自慢者十一名が熱唱。古丹別大川桃義さんの「まつり」に合わせお孫さんの永井星奈ちゃんや吉聖くんが和太鼓を披露。また、栗林優樹さんが韓国ドラマ「冬のソナタ」で有名なヨン様に扮し、最初から今まで」の曲にあわせて会場をまわり、観客を沸かせた。

## かわいい園児が

### 勤労感謝訪問



お礼と記念品が贈られた。

十一月二十二日勤労感謝の日の前日苦前保育園園児十七名が苦前町役場を訪問した。園児を代表して宮野寛太くんが「とままえちょうのひのため、まいにちはたらいてくれてありがとう」とお礼のことばを読み上げ、森町長へ花束が贈呈された。森町長からは「みなさんが元気で明るく暮らせるようにがんばります」とお礼と記念品が贈られた。

## 第24回読書感想文コンクール

### 読書で多くの感動体験を!

十二月四日第24回読書感想文コンクール表彰式が町公民館で行われ、入賞した小中学生及び高校生に廣瀬教育長から表彰状と記念品が贈られた。

このコンクールには、町内各学校から百十九点の応募があり、小学一年生から高校生までの六部門において、最優秀賞、優秀賞、佳作合わせて三十六名が入賞した。

廣瀬教育長は「内容の深い良い作品ばかり。本は人生を考え、

生きる力を育むために欠かせないものです。感動体験を通して大きく成長してほしい。」と入賞者を讃えるとともに、読書の大切さ呼びかけた。

その後、各部門最優秀賞作品が朗読され、子どもたちの感性の豊かさに父母らも感心。最後に佐藤滋審査委員長（苦前中学校校長）から各部門別の講評があり、「これからも大いに読書を通じて感動できる作品に出会ってほしい」と語りかけた。入賞者は次のとおりです。



#### 小学一年生の部

- 《最優秀賞》加藤みなみ(古小)
- 《優秀賞》齊藤ななみ(古小) 久保杏奈(古小) 《佳作》旭一向(苦小) 森麻浦(苦小) 川村旬輝(苦小)

#### 小学二年生の部

- 《最優秀賞》小澤悠哉(古小)
- 《優秀賞》千田大貴(苦小) 長澤茉由佳(苦小) 《佳作》田口萌乃(古小) 佐藤翔太(力小) 若狭未来(力小)

#### 小学三・四年生の部

- 《最優秀賞》西村拓真(古小四)
- 《優秀賞》坂川さゆみ(苦小三) 花井美希(苦小三) 《佳作》伊藤翔貴(古小三) 堀純平(古小四) 小澤菜摘(苦小三)

#### 小学五・六年生の部

- 《最優秀賞》久野茜(苦小六)
- 《優秀賞》西村萌美(苦小六) 伊藤啓一郎(古小六) 《佳作》村本茜(苦小六) 鈴木駿樹(古小六) 高瀬尚也(苦小五)

#### 中学生の部

- 《最優秀賞》小笠原宏一(苦中三)
- 《優秀賞》小澤春菜(苦中二) 坂川薫子(苦中一) 《佳作》伊藤未来(古中三) 岡田真由美(苦中三) 伊藤沙弥香(古中二)

#### 高校生の部

- 《最優秀賞》松田沙希子(苦商一)
- 《優秀賞》小澤侑子(苦商二) 大西歩未(苦商一) 《佳作》開発絢香(苦商二) 松原未佳(苦商二) 水野圭介(苦商一)

## 町民に元気を!

### 新庄選手・小笠原選手ら 日本ハムファイターズの勇姿30点



台風で被害を受けた町民を励ますと北海道新聞の協力により、「北海道日本ハムファイターズ写真展」が十一月二十六日から

十二月十日まで町公民館及びとままえ温泉ふわつとで行われ、多くの町民を勇気付けた。

この写真展は町教委が「選手たちの明るさに触れ、元気を取り戻そう」と北海道新聞社へ写真展への協力を要請し実現したものである。

会場には、プレーオフ第一ステージまで奮闘した新庄選手や小笠原選手など主力選手の写真三十点を展示。また、同球団の協力によりメガホンやタオル、キーホルダーなど三十三種類のグッズも販売され、その収益金を「災害はみんなで助け合おう」との合言葉のもと、新潟県中越地震災害対策本部へ送られた。

### 食生活の安全性を考える

#### 苦前町女性大会

十一月二十八日とままえ温泉ふわつとで第45回苦前町女性大会が町



会が町女性団体連絡協議会(会長 林千代美)の主催により開催され、会員六十三名

### 産業感謝祭で

#### 収穫と勤労に感謝

十一月二十三日苦前神社において産業感謝祭が行われ、森町長をはじめ漁業や農業、商工業などの各産業団体及び町内会などから四十名が参加。一年間の収穫と勤労に感謝するとともに、



来年に向け 大漁祈願・五穀豊穣・商売繁盛の思いを込め、一人ひとりが玉串を奉納。深々と頭を下げた。

が食品の安全性や絵手紙製作を学んだ。

講演では北海道消費生活コンサルタントクラブの竹田加代さんが「食生活の安全性を考える」食品添加物をテーマに、主な食品添加物を紹介。「個人差はあるものの乳幼児や成長期の子供は食べないように」と注意を促した。

また、午後からは西川加代子さん(字九重)を講師に絵手紙講座が開かれ、年賀状シーズンを迎え「心が伝わる年賀状は手づくりで」と絵手紙の暖かさに参加者も楽しみながら製作していた。



劇団 井の中のカワズたち

# 6月公演に向け活動再開



平成五年公演の「冒険者たち」

平成八年の「芽生え」を最後に活動を休止していた劇団「井の中のカワズたち」が、十二月七日活動を再開し、今年六月に『牝熊』で復活公演を行うことを決めた。

同劇団は、成人講座「演劇教室」がきっかけとなり、当時公民館長であった湯田克衛さん（留萌市在住）の指導の下、平成四年に結成され、これまで五回の公演を実施。

会員の転出や脚本が決まらず、平成九年以降休止状態となっていたが、演劇のとりことな

っていた団員たちは、昨年八月に「もう一度、舞台上に上りたい。あの感動を再び」との強い思いから、活動再開を決意。脚本選びから準備を始めた。

今年六月に公演予定の『牝熊』は劇団発足の最初に行った演劇で、造材場の飯場を舞台に男勝りの女性を中心に、男女の恋愛がテーマ。「活動の原点に立ち戻り、メンバーの新たな感覚で、再スタートをきりたい」と初公演の内容にアレンジが加える予定。

団員の中心メンバー堤祐子さん（字九重）は「舞台は自分でない自分が表現できるし、快感です。結成当時から見ると団員も年を重ね、それぞれ違った感性を発揮できるはず。ひと味違うものを披露できると思います。この演劇に、子供から高齢者まで多くの方々に関わって頂き、町を巻き込んだ舞台にしてみたいです」と抱負を語ってくれた。

公演に向け同劇団は、一月から脚本の読み合わせを行い、舞台を固めていくこととしており、現在の団員は十五名とスタッフ・キャストともに不足している。事務局（町公民館）では「一緒に活動できる団員を町内外問わず、広く募集しています。どんな形でも構わないので、どんどん参加してほしい」と呼びかけている。

## ツリーでクリスマス気分

苦前はまなすクラブ



苦前老人クラブ・はまなすクラブ（打田勝宣会長、会員二十四名）は、十二月二日普段利用

飾り付けを行った。同センターには、高齢者の利用施設シルバークラブが併設されており、各種会合や高齢者のコミュニケーションの場として活用されている。「歳末に何も無い口癖は寂しい」とツリーを購入。高さ二・五メートルのツリーに会員が手作り人形やライトを飾りつけたほか、自分たちの写真もつるし元気な姿をアピール。華やかな出来栄に他の利用者も喜んだ。

健康 ばんざい

# 総合検診のお知らせ

苦前町では、昨年度から従来の循環器健診と胃・肺・大腸がん健診を同時に実施する『総合検診』を行っています。

日本では、三人のうち二人が生活習慣病で亡くなっているといわれています。ご自分の健康チェックの機会として、今年度まだ健診していない方は、是非この機会に健診を受けましょう！

実施日  
二月二日（水）午前中  
苦前町福祉センター

二月三日（木）午前中

苦前町公民館

健診（検診）項目

申し込みが必要なもの

基本健康診査（循環器検診）

胃がん検診

肺がん検診

大腸がん検診

肺炎ウイルス検診

申し込みが必要ないもの

結核予防検診

エキノコックス症検診

詳しくは、別紙折込の『総合検診のお知らせ』をご覧ください。

## ファイヤー通信 小型動力ポンプ付水槽車更新

北留萌消防組合古丹別支署では、小型動力ポンプ付水槽車の老朽化に伴い更新され、12月9日同支署車庫内において入魂式が行われ、安全運行などを願った。



更新された水槽車は、タンク総量1万リットルで動力ポンプの性能を高め放水力が増したほか、メタルハイト投光器（1000ワット）2灯式の大型照明が取り付けられ、夜間の火災はもちろん、災害・交通事故現場についても安全性と作業効率が改善される。

入魂式において森町長は「装備の充実を基に、あってはならない事故が起きないよう万全の体制で臨んでもらいたい」と呼びかけた。

# 第13回北海道凧あげ大会 第32回苫前町凧あげ大会

日時：平成17年2月27日（日）  
受付 午前9時00分から  
開会式 午前9時30分から  
場所：とままえ温泉ふわっと  
参加料：無 料

## 参加部門

親子の部（小学入学前の親子）  
小学1・2年生の部  
小学3・4年生の部  
小学5・6年生の部  
中学生の部  
高校・一般の部  
連凧の部  
大凧の部（面積2㎡以上の凧）  
連凧・大凧の部は登録者5名以内



詳細は、決まり次第お知らせいたします。

## ナイタースキー教室開催

初心者、上級者を問わず、全日本スキー連盟公認指導員が親切・丁寧に指導してくれます。今年も古丹別・苫前の両地区で開催しますので、ふるってご参加下さい。



日程：1月24日(月)、26日(水)  
28日(金)、31日(月)  
2月 2日(水) 計5日間  
時間：19時00分～20時45分  
場所：古丹別緑ヶ丘スキー場  
苫前三角点スキー場  
対象：高校生以上  
参加料：無料（但し、スポーツ傷害保険等には必ず個人で加入していること）  
申込み：1月20日（木）まで  
申込先：お問い合わせは苫前町公民館まで

## ◆エアロビクススクール開催のご案内◆

町民の皆様の健康づくりの一環として、12月に開催しましたエアロビクススクールを2月にも次のとおり開催いたします。ウォームアップからストレッチまで公認指導員が優しく指導してくれます。音楽に合わせて楽しく、爽やかな汗を流してみませんか！  
初心者・日頃運動不足の方大歓迎ですので、お気軽にご参加下さい。

会場：苫前町公民館 多目的ホール  
日程：平成17年2月（毎週水曜日）  
2日、9日、16日、23日の計4回  
時間：19時00分～20時00分  
参加料：無 料



主催者では、事故・ケガに対する保険に加入していませんので、各自で対応願います。

その他：水分補給用の飲み物とタオルを持参してください。  
申込先：お問い合わせは、苫前町公民館まで

## 第4回留萌管内スポーツフェスタ冬季大会 今年は羽幌町で開催されます

開催日 平成17年2月13日（日）  
開催場所 羽幌町町民スキー場「びゅー」  
競技種目 ジャイアントスラローム（大回転）

～ お 願 い ～

スキーの得意な方、参加してみたい方、ご連絡お待ちしております。

また、選手の推薦も併せてお待ちしております。

連絡先 スポーツフェスタ苫前町実行委員会  
（事務局 苫前町公民館）

～あなたの学びたいを応援します～

## 苫前町教育委員会 社会教育課

お問い合わせ ☎5 - 4076  
ご相談は

E-mail : tph@jasmine.ocn.ne.jp  
HPアドレス : http://www1.ocn.ne.jp/ tomamae/

## 古丹別コミュニティ広場整備！

野球場フェンスがより安全に

本年度、苫前町野球場が（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業により「古丹別コミュニティ広場」として整備しました。

コミュニティ助成事業とは、全国宝くじ普及広報事業として受け入れる宝くじ受託事業収入を財源として、地域住民の行うコミュニティ活動を推進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報活動として行われているものです。

この広場（野球場）は、地域でのレクリエーションや軽スポーツを通して、地域住民の世代間交流や親睦を図ることを目的に、これまでのフェンスに、安全性を高めるため、ラバーフェンスが取り付けられ、プッシュボールやフライングディスクなどの幼児用遊具が整備され、より一層のコミュニティ活動が期待されます。  
くわしくは、社会教育課までお問い合わせください。



ラバーフェンスで安全となった野球場フェンス



# スマイル 住まいる情報

Information

緊急時、あわてず、あせらず、110番  
1月10日は「110番の日」です

「110番通報制度」は、事件・事故などの早期解決のために、いち早く事件・事故を通報してもらい、パトカーや交番の警察官が、早期に現場に到着し、犯罪人の検挙や被害者の救護等的確に行うための制度です。

現在では住民の皆さんと警察とを結ぶ絆として定着しています。事件や事故に遭ったり、見たりしたら、あわてず、あせらず、110番してください。

## 【110番のポイント】

何があったのか…どんな事件・事故なのか  
いつ…何日の何時頃か、今からどれくらい前か  
どこで…場所はどこか、目標は何か  
犯人は…人数、服装、逃げた方向、どんな車か  
事件・事故の概要は…けが人は何人、どんな状況  
あなたは…住所、氏名、電話番号

## 【お願い】

携帯電話で「110番」をすると旭川方面本部通信指令室につながります。最寄の警察署へかける場合は、電話番号をダイヤル下さい。

「110番」は事件・事故を通報する緊急電話です。いざずら電話は絶対やめましょう！

## 自動車リサイクル法

1月1日スタート

自動車リサイクルのネットクとなっていた自動車破砕くず。その処理が新たな環境問題となっているフロン類・エアバック類のリサイクルや適正処理をするため自動車リサイクル法が施行されました。

自動車を廃車するときは、北海道の登録を受けた引取業者に引き渡すことが必要となります。今後、車の所有者はリサイクル料金を支払うことが義務付けられ、平成十七年一月以降、新車の購入時に、今お持ちの車は車検時に、車検を受ける前に廃車する場合は廃車時に支払が必要となります。

リサイクル料金の支払を証明する書類として発行されるリサイクル券は、今後の登録、車検や廃車の際に必要となりますので、車検証などと一緒に大切に保管してください。

具体的金額は、エアコンやエアバック類の個数、自動車破砕くずの量によって異なりますので、各自動車メーカーにお問い合わせ下さい。

資源を有効利用し、北海道の豊かな環境を守っていくために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

《お問い合わせ先》  
北海道道環境生活部環境室循環型社会推進室（〇一—二二—）  
四一—一内線二四 三三—二二）又は留萌支庁地域政策部環境生活課まで

## 確定申告のお知らせ

平成十六年分所得税の確定申告の相談及び申告書の受付が二月十六日（水）から始まります。

所得税の確定申告の相談及び申告書の受付は三月十五日、消費税の確定申告の相談及び申告書の受付は三月三十一日までとなっておりますので、申告書は「確定申告の手引き」などを参考に各自で作成し、早めに提出してください。

また、消費税の改正により、納税義務が免除される「基準期間における課税売上高」は三千万円から千万円に引き下げられました。

詳しくは、留萌税務署個人課 税部門（〇一六四 四二〇 六六三）までお尋ね下さい。

## 戸籍の小箱

慎んでお悔み  
申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
松崎章次郎（79歳）	11月25日	苫前	
岡田孝二郎（67歳）	11月27日	苫前	
吉田フジ子（80歳）	12月4日	苫前	
今野千賀子（62歳）	12月12日	栄浜	

## ご成長を

お祈り申し上げます

氏名	父・母	出生日	住所
下田ひより	長女	学 / 美雪	11月25日 苫前

未長くお幸せに

氏名夫	住所	氏名妻	住所
加藤博克	長島	富土原 真由美	瀧町

## 人事異動のお知らせ

十二月一日付けで機構の改正に併せて、次のとおり人事異動がありましたのでお知らせいたします。

総務財政課行革推進係長兼交通防災係 松原泰司（企画振興課係長） 企画振興課政策推進係長兼まちおこし係 佐々木亮（同課係長） 総務財政課総務

## 1月 町税の納期

今月は、町道民税  
固定資産税  
の納入月です。

納期内納入にご協力願います。

## 苫前町の交通事故情報

平成16年11月末現在

発生件数 死者数 負傷者数  
8件 1人 10人

交通事故死ゼロ日数は  
11月30日現在で212日



# あなたのまちの民生委員・児童委員

平成十六年十一月三十日任期満了に伴い、十二月二日民生委員協議会が開催され、新たに委嘱を受けた民生委員・児童委員十八名に、委嘱状が交付されま



新たに辞令を交付された民生委員のみなさん

した。任期は三年間（平成十九年十一月三十日まで）です。

あなたの地区を担当する民生委員児童委員は次のとおりです。

- 力登地区 笹森武 上平地区 齊藤百合子 港・三豊地区 伊藤せつ子 港地区 能登大助
- 苫前・栄浜地区 関武 苫前地区 坂川玲子、野崎信輝 昭和・豊浦・興津地区 芳賀良子
- 旭地区 寺林正 長島・香川地区 大西豊一 古丹別地区 服部秀行、堀田睦子、山本美智子、平田けい子 九重・三溪地区 佐武正幸 岩見・東川・小川地区 合田明光 主任児童委員 磯崎敏子、菊池典子

## 新しいしめ縄で新年を！

### 林退協が古丹別神社で

十二月七日古丹別神社において国有林退職者協議会苫前支部（谷口順清支部長）が、新春を新たな気持ちで迎えてほしい」と恒例のしめ縄づくりを実施。冷たい風が吹き付ける中、会員十五名が



このしめ縄作りは、旧宮林署時代に山の神を祭る作業の中で行われ、その技術が活かされており、十八年間続けられている。

谷口支部長は「雪が降り手ががじかむこともあった。この真新しいしめ縄で新年を迎えてほしい」と語った。このしめ縄は、古丹別神社の鳥居に飾られる。

## 北海道救急医療 システムの利用を 広域災害情報

道民や医療機関、消防機関などに対し救急医療情報を迅速に提供し、利用促進を図るため同システムをリニューアルいたしましたので、是非ご活用下さい。

HP : <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>  
 オペレーターでの案内も行っています。  
 フリーダイヤル：0120-20-8699

### 苫前中

## 道北大大会二年連続最優秀賞の快挙 全道中学校かへ新聞コンクール・準大賞

第三回道北地区中学校かへ新聞コンクール三年生の部において、苫前中学校（総合一班）が三年連続最優秀賞の快挙とともに、第三回全道中学校かへ新聞コンクールで二位となる準大賞



快挙を成し遂げた 苫中総合一班のメンバー 8名

を受賞した。

全道コンクールは、全道各地区コンクールを勝ち抜いた最優秀作品の五作品が出版され、環境保護を考えた消費者（グリーンコンシューマー）をテーマにごみリサイクルなどの具体的な取り組みを丁寧に紹介している「深緑」（作品名）が認められ、審査員からは「非常にレベルの高い作品」と講評を受けた。

総合一班のリーダー印部北斗くんは「作製に五か月もかかり苦労したけど、みんなの力を結集したおかげです。これから環境を考えながら活動していきます」と喜びを語った。

## 歳末募金・図書ライオンズ文庫寄贈



### ライオンズクラブ 歳末助け合いパーティ

苫前町ライオンズクラブ（阿部俊一会長）は12月11日歳末助け合いパーティを実施。社会福祉協議会への歳末助け合い募金と町教育委員会へのライオンズクラブ文庫図書3万円分を寄贈。

ライオンズ文庫は昭和58年度から続けられ今年で22年目。蔵書も千冊を超えている。寄贈を受けた廣瀬教育長は「年々財政が厳しい中、この寄贈により新刊図書の充実を図るため、有効に活用させていただきたい」とお礼を述べた。

## ご厚志に感謝します

- 各町内会等への寄付 (上平町内会へ)
- 苫前 エリアショップにしむら 西村 征一様
- 新潟中越地震義援金への寄付 (新潟県共同募金会)
- 苫前 苫前婦人会様
- 苫前 苫前町人會様
- 苫前 苫前町日赤奉仕団様
- 苫前 老人クラブ連合会様
- (新潟県災害対策本部)
- 苫前 苫前小学校児童会様
- 苫前 苫前中学校生徒会様
- 古丹別 古丹別中学校生徒会様
- 古丹別 古丹別体育協会様
- 苫前 苫前町体育協会様
- (日本赤十字社新潟県中越地震災害義援金)
- 古丹別 古丹別小学校児童会様

古丹別中学校生徒の作品

『自画像』



3年 伊藤 玲佳さん  
色使いがあまり上手できなく、ムラが出来てしまったけど、上手できてよかったです。

『情報社会』



3年 西川百合絵さん  
はねがちゃんとできてよかったです。

『伸びる芽』



1年 大西 一雅くん  
止め、はねが上手く書けました。「る」が上手く出来なかった。

『自画像』

ジャージが上手く書けました。



3年 花井 絵美さん

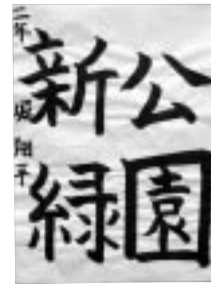


『自画像』



3年 逢坂 佑太くん  
小学生の頃の顔で自分では、似ていると思っています。帽子が難しかったです。

『公園新緑』



2年 堀 翔平くん  
「公」の字を上手く書けました。全体的に上手く書けました。

『自画像』



3年 矢田 誠くん  
少しずつ色を濃くしながら、ジャージの色を丁寧に塗りました。

『情報社会』



3年 伊藤沙耶香さん  
一つひとつの文字をバランスよく書くことに、がんばりました。

このコーナーは、町内の保育所（園）や小中学校の園児や児童生徒の作品を紹介しします。ひとりでも多くの作品を紹介したいと思っています。  
2月号の予定は苫前中学校の生徒のみなさんです。

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

風力発電の売電状況 (町営分)

16年の実績 (1~11月分)

43,129,512円

平成16年11月分の実績

・供給電力量

546,610 kWh

6,858,588円

(設備利用率34.51%)

地震被害お墓にも!

昨年十二月十四日、震度五強の地震が苫前町を襲い、町内各家庭などに被害をもたらしました。  
なかには墓石のずれなどの被害が発生しております。今一度、ご先祖のお墓をご確認されてはいかがでしょうか。被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。

新年明けましておめでとございます。昨年は、災害等によりあまり良い年とはいえませんでした。今年も「酉年」と皆様にとつて、大きく羽ばたける年となりますことをお祈り申し上げます。広報紙面では、皆様のご満足いただける内容とならないことも多々あるかもしれませんが、今後ともご愛読いただきませうようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

編集 雑記 帳